

第1387回 七福神例会報告

2016年1月7日(木) 17:30 岐阜グランドホテル 司会 L.日比 辰一

334 複合地区 スローガン

心の平和は 健康への第一歩

～^{ひと}人間から^{ひと}人間へ 心をつなげて～

334-B 地区 スローガン

しめそう、日本の力 広げよう、ライオンズの力

岐阜南ライオンズクラブ会長方針

愉快地楽しく仲間づくりの例会
退会者をなくそう

会長あいさつ

会 長 L.中村明常

例会プログラム

開会ゴング 会 長 L.中村明常

国旗に礼

国歌斉唱並びにライオンズクラブの歌斉唱

ゲスト及びビジターの紹介 幹 事 L.矢橋純一

会長あいさつ 会 長 L.中村明常

ゾーンチェアパーソン抱負 Z C L.松波英寿

講話

演題『取得した特許について』 Z C L.松波英寿

TT登場 前 T.T L.小見山与志夫

委員会報告 各委員会

幹事報告 幹事 L.矢橋純一

会計報告 会計 L.呉岡 勉

出席報告 出席委員会

[食事懇談]

次回例会のご案内 (1月21日 鏡開き例会)

また会う日まで

閉会ゴング 会 長 L.中村明常



本日、私とメンバーの一人と七福人を巡ってまいりました。岐阜南ライオンズクラブの益々の繁栄を祈念してまいりました。平成28年1月7日の日付を入れてさせて頂き皆さんにも福があるように一緒に祈ってきました。

今年の三が日は暖かい日でしたが、皆さんはどう過ごされましたでしょうか？去年は雪が降りまして日の出に行けなかったのですが、今年は天気が良く金華山に4時半に起きまして登ってまいりました。雲なく東の空の山間から太陽が光るのを見て、暖かい日差しを感じられました。静寂の中、太陽の光が顔に当たるととても暖かく感じ清められるような気持ちとなり、今年はいいい年になるような事を思いました。

皆さんも色々と神社に行かれてお参りされて色々とお願ひ事をされたと思います。また、帰りに子供達と伊奈波神社に寄りまして、健康だけを祈ってきました。昔から「健康をなくせば全てをなくす」と言われますように、健康であれば本当に良いかと思ひます。

皆さんもお時間があれば、お参りして頂ければよいかと思ひます。

今年1年、岐阜南ライオンズクラブの為に頑張りますので宜しくお願ひ致します

ゾーンチェアパーソン抱負 ZC L. 松波英寿

2015年12月01日をもってゾーンチェアパーソンに就任させて頂きました。ご承知の通り私一人の力で出来るものではありませんので、皆様のご協力をお願い致します。

「ライオンと呼ばれる人」

☆事業を成功に導き、善良な生活を楽しむ

常に微笑みをたたえ、人類を愛し
知識人の尊敬を集め
幼子たちに親しまれる人

☆その地位にふさわしく

かつ精力的な仕事ぶりにより
一輪の花と心打つ詩と
そして、麗しさを秘めた魂とによって
より良き社会をもたらす人

☆人生の中に美の輝きを感じ

その賛美の言葉を忘れず
自らの良きところをまた友に贈る
その人生こそ偉大なる感激そのもの
彼こそライオンと呼ばれる人

私達はライオンのメンバーですが、「ライオンと呼ばれる人」と相応しいよう私達はなりたいし、そしてゾーンチェアパーソンの抱負としましては、私達ゾーンの全てが「ライオンと呼ばれる人」に相応しいクラブとして発展する事を祈念致しまして活動していきたいと思っております

講話

ZC L. 松波英寿

【演題】『取得した特許について』



医療法の改正に伴い医療計画が何十年も前から各県で立案されています。

少子高齢化に伴い、今後人口が減少します。しばらくは疾患が増えますが人口が減ると医療機関に雇われる人口が減りますので病院自体が溢れる状況に対して対策を取っていかねばなりません。

医療費は入院して治療を受ける事から医療費が発生します。病院を少なくすれば医療費が掛からないのではないかという考えから、入院患者様を在宅に送り地域包括ケア(住居を含め地域全体で介護・医療・福祉を行うこと)をしていくと論じられてます。

医療計画の中で画期的な内容は「地域医療連携推進法人(県病院、市民病院、国立病院、私的病院、個人

病院などの様々な病院)がホールディングカンパニーを作り、それらが経営して良い」という法律が通りました。

つまり岐阜県全体で岐阜医療圏が県全体の急性期医療の特殊なものを担います。今後飛騨地区や東濃地区には高度救急医療などは造らず、全て岐阜地区が担当することになり、大学病院を中心として県病院、市民病院、松波総合病院が地域の中心となり急性期医療を行う事が決まりました。

今後2025年に向け医療は大きく変わろうとしており、医療提供者は今のままの医療では生き残れなく、また一般市民の方たちも今までの医療が受けられない事を認識しなくてはなりません。

慢性期病床＝療養型病床(2～3カ月場合によっては6カ月以上入院される病床)が人口比に対し長野県が最も少なく、岐阜県は長野県より少し多く高知県が1番多いです。

厚労省は全国の療養型病床を2025年までに長野県と同レベルまで削減することを求めています。つまり高知県は2/3減らし全国では35万床減らすこととなります。

例えば寝たきりの患者様を在宅へ送った際には不都合な状況が生じますが、それを解決するのが「誰もが安心して在宅医療を受けられる(受け入れられる)システム」つまり「ウェアラブルなドクターコール付き生体情報発信装置」を利用し地域見守り駆けつけサービスを有した医師会主導の在宅医療システムです。

それは生体情報(心電図や脈拍、酸素飽和度など)を発信する装置を患者様に付けてもらい、尚且つ地域見守りサービスを併用し、医師会主導の元、在宅医療を円滑にしていくものです。

老人ホームも、サービス付高齢者向け住居も高額、老人保健施設・特別養護老人ホームは比較的安価だが入所待ちが長い。そこで自宅に慢性期病床と同じ機能を持たせれば良いのではないかと考え、生体情報と緊急ボタンと情報発信装置を兼ね備えた「いつでもウォッチ」を付けデータを開業医に送り、常にデータを見ている状況を作ります。

開業医が勤務時間でない場合は機関病院のICUに送られます。ICUは24時間体制で常に医師が居る事が法律で義務付けられている為見落としがありません。自身で異常を自覚した場合はドクターコールを押せば見守り隊が駆けつけ、また自覚症状がない場合は、個人の状況・医療情報を把握している主治医が異常を認識した際は緊急搬送などの判断を行います。

このシステムを利用すれば医師主導の元にスムーズに医療を行う事が出来て、早期発見早期治療により掛かる治療費が削減されます。つまり地域一帯を一般病棟にしようという考えです。

2つ目の特許は「麦藁帽子型採血検査一体型キット」です。

世界の受診回数を見ると1位韓国、2位日本ですが、韓国の場合は接骨院も含めている為多いですが、日本はそれを含めたら断トツの1位です。

日本は平均して月1回位のペースで受診している計算になりますが、オーストラリアはその1/2、アメリカは1/4と少ない受診数です。それはセルフメディケーション(自分で診断し自分で治療する)が充実されているからであり、OTC(オーバザカウター:薬局などカウンター越しに商品を購入する)の自己検査項目はアメリカは感染症や癌の腫瘍マーカーなど75種類あるのに対して、日本は尿糖・尿蛋白・妊娠反応の3種類にすぎません。

しかし今は病院で採血し検査していますが今後は自分で採血し自分で判断しても良いのではないかと考え、革新的採血検査デバイスの開発をしました。自己採血し定量・適正検査が出来る。つまり血液採取と同時に目的とする生化学検査が出来る事になり、その場で関心のある検査内容に関し自己判断出来ます。例えば救急搬送時の患者様の感染症などの潜在的疾患保有の有無の把握、パンデミック時の初期対応、自宅で感染症の早期診断、アルコール濃度、てんかん薬の服用の有無など画期的に需要が見込まれ、受診回数を減らす事が医療費削減に繋がると考えます。

また特許申請し査定されている段階であります。以前より「痩せる特許」を取りたいと思っていました。痩せる為には食べないか運動する事が良いとされていますが、食べないのも運動するのもなかなか難しい。

そこで減量手術という胃と空腸をバイパスする手術。要するに通常は胃から小腸そして大腸を経て便として出ますが、小腸を半分にして胃と小腸を繋いで吸収できるベースを半分にする痩せます。日本ではまだですがアメリカでは1つの方法として行われています。

数百万の手術代が掛かりますが、3年間の医療費と比較すると手術した方が安く済む為盛んに行われている。しかしこれを行うと高齢になった時に食欲がなくなり痩せてしまうなどの問題や膵臓癌や胆管癌になった時に手術が出来なくなる可能性があります。そこで私が考えたのは「インナーシャントソック」という胃から小腸にかけて袋を入れて消化吸収しない様にして中を素通りさせれば食べ物は腸管と接触する面積が減る為、吸収されずに痩せます。

実際ネギ袋を豚に入れて実験し特許を出そうとしましたが、半年程前にアメリカから特許や論文も出され肥満や糖尿病が治ったと証明されている。そこでミカンの袋・女性用ストッキングなどたくさん穴が開いた物で作り、一部は吸収して良いが一部は吸収しない物を作り現在子豚で実験しています。これが上手くいけば例えば潰瘍性大腸炎などの治療にも役立ちます。

何故この様な事を行うかという医療費を抑えなければならぬ、根本的に病気にならない体質を作る為に厚労省はどんどん方針を変えていく為、それを先取りした事を考えているからです。

T.T 登場

前 T.T L.小見山与志夫

本日は時間がございませんので申告ドネーションのみご報告させていただきます。

- 年初の例会におきまして、ゾーンチェアパーソンの就任の抱負と特許についての説明をさせていただきます。今年も頑張っ参ります。
L.松波 英寿 10,000円

- 明けましておめでとうございます。
私こと今年も孫8人と家族で新しい年を迎えることが出来ました。健康に感謝して。
L.野村満喜子 5,000円

- 先日のクリスマス会に参加させていただきましたウチの息子が、一級建築士に合格しました。あと継ぎの誕生の喜びに。
L.藤井 利也 10,000円

- 本日の出席率が90%を超えました。その喜びとして。 出席委員会 2,000円

幹事報告

幹事 L.矢橋純一

- 1.12月20日9:30 四献委員会事業の献血ウインターキャンペーンがマーサ21にて行われました。
- 2.12月24日16:00 第3Z会長幹事会が岐阜会館にて行われ、会長L.中村明常、幹事L.矢橋純一が出席致しました。
- 3.12月25日12:00 第1回334複合地区国際理事推薦委員会が、キャッスルプラザホテルにて行われ名誉顧問L.松波英一が出席致しました。
- 4.FWTと言う女性会員によるライオンズクラブ運営があり、女性の力でもって新しいライオンズのアクティビティを行おうと今年度から盛んになっています来年度は、当クラブから女性会員10名の中から1名をFWT委員長として任命をし組閣の中に盛り込みまして、指名させて頂く事となりますことを今回の理事会で承認されました。今年度は、L.野村満喜子にお願いする事となり、理事会でも承認されました。
- 3.ライオン誌8ページに国際委員会の留学生交流会の記事及び写真が掲載されていますので、ご覧下さい。

理事会・委員会記録

- 1.1月6日13:30 計画委員会例会準備 事務局
- 2.1月7日16:45 理事会 岐阜グランドホテル

委員会・その他のお知らせ

- 1.ぎふ献血サポーターズクラブ合同献血が行われます。不足する冬季の輸血用血液確保のため献血にご協力いただきますようお願い申し上げます。
(400mL献血のみの受付)
1月10日9:30~12:00 13:30~16:00
マーサ21
1月17日9:30~12:00 13:15~16:00
アピタ各務原店
- 2.1月15日9:30~13:00 青少年委員会事業
特別支援学校「おもちの会」岐阜特別支援学校

3. 1月17日 9:30 四献委員会事業 献血活動
マーサ 21
4. 1月19日 12:00～15:00 地区ライオンズ
クエスト委員会 コンフェット鈴鹿平安閣
5. 1月20日 13:30 計画委員会例会準備
クラブ事務局
6. 1月21日 10:45 岐阜長良川LC合同打ち合わせ
岐阜グランドホテル
7. 1月21日 11:30 理事会 岐阜グランドホテル
8. 第62回地区年次大会事務局開設のご案内
〈住所〉〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町 816
鈴鹿商工会議所 3階
ライオンズクラブ国際協会 334-B 地区キャビネット事務局内
TEL (059) 381-4970 FAX (059381-4971
E-mail 334b.suzuka@gmail.com

会計報告

会計 L. 呉岡 勉

ファイン・ドネーション 94,000円

出席報告

正会員 75名 出席 70名
出席率 93.3% 前回の補正 100%

【献血協力者】累計96,146名 (11月末付)

【ライオンズレート】1月・・・1USドル=120円

次回例会のご案内

鏡開き例会 1月21日 (木) 12:15

岐阜グランドホテル